

文化・教養専門課程 楽器ビジネス学科

学科区分	共通選択の別	授業科目	第1学年 前期 授業時数	第1学年 後期 授業時数	第2学年 前期 授業時数	第2学年 後期 授業時数	授業時数 合計	授業方法	実務経験 のある教員 等による授 業科目
共通教科	共通	業界概論	30	30	30	30	120	講義	○
		クラフト講義	30	30			60	講義	○
		ワインテージゼミ			30	30	60	演習	○
		イベント制作		32		32	64	実習	○
		業界研究	34	34	34	34	136	実習	○
必修教科	ギタークラフト専攻	クラフト実習	150	150	150	150	600	実習	○
		リペア実習	120	120	90	90	420	実習	○
		エレクトロニクス	60	60	60	60	240	実習	○
		音響基礎	30	30	60	60	180	実習	○
共通教科授業時数			94	126	94	126	440		
必修教科授業時数（ギタークラフト専攻）			360	360	360	360	1440		
卒業に必要な総授業時数（ギタークラフト専攻）			454	486	454	486	1880		

# シラバス

楽器ビジネス学科

ギタークラフト専攻

授業科目		授業時数
業界概論		60

学年	学科	専攻
1	楽器ビジネス学科	ギタークラフト専攻

担当講師(プロフィール)
横山 友之 豊かな現場経験をもとに、クラフトマンとして必要な知識や技術を伝授。アーティストからの信頼を得るような考え方の育成にも力を注ぐ。

前期 到達目標
楽器業界を知り様々な楽器メーカーの知識を得る 近代ロック史の理解 一般常識・ビジネスマナーを身に付ける

評価方法
筆記試験)実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1 授業ガイダンス	「楽器業界概論1」で学ぶ内容について年間スケジュールをもとにガイダンスを行います。
2 大型機器/音響機器等備品の使用方法	各実習系授業内で使用する大型電動工具や音響機器の種類とその使用方法についてレクチャーします。
3 楽器業界ガイダンス	卒業後の進路となる楽器業界について、相關図をもとに各業種の業務内容と代表される企業について学びます。
4 学外実習・研修のガイダンス	GW/長期休み等に行われる学外実習・研修についてスケジュールを確認、各実習内容について詳しく説明し、必要な準備を行います。
5 楽器業界知識①	楽器業界と関わりのある様々な業種について、担当する分野と仕事の内容、代表的な騎乗などを紹介します。
6 楽器業界知識②	各業種における過去の卒業生の就職実績を紹介。必要とされるスキルや就職活動のスケジュールを確認し、業界へ向けた就職活動の大きな予定を立てていきます。
7 一般常識/ビジネスマナー①	慣用句や国・都市名、各都道府県庁所在地などの知識や、税率の計算など、楽器業界で必要とされる一般常識について講義形式で学びます。
8 一般常識・ビジネスマナー②	メールや電話でのやりとりや名刺交換のしかたなど、一般的なビジネスマナーについてレクチャーします。
9 近代ロック史①	近代ロック史以前の時代について、流行した音楽とその成り立ち、時代背景などをもとに音楽的知見を広める講義を行います。
10 近代ロック史②	R&Bとカントリーが融合し生まれた近代ロック史の礎となるロックンロールについて紹介し、代表的なミュージシャンや楽曲について学びます。
11 様々な楽器メーカー①	ギター/ベースについて、音楽ジャンル別に使用される楽器の特徴と代表的な機種について学びます。
12 様々な楽器メーカー②	国内以外の有名なギターブランドについて紹介し、代表的なモデルと使用するアーティスト等について学びます。
13 様々な楽器メーカー③	ギター・ベースアンプとエフェクターについて、代表的なメーカーを紹介。代表的な機種と使用するアーティスト等について学びます。
14 前期試験	前期「楽器業界概論」で学んだ内容についておさらいし、筆記試験を行ってそれぞれの理解度を確認します。
15 業界研究①	9月に行われる工場見学で訪問予定の企業を紹介、それぞれの企業研究を行います。

授業の方法
講義) 演習・実験・実技・実習

授業概要
楽器ブランドやメーカーの成り立ちを楽器の歴史を織り交ぜながら学習していきます。将来進んでいく楽器業界そのものを理解することで、就職活動などに生かしていくことを目的とした授業です。 <実務経験のある教員等による授業科目>

使用教材:

後期 到達目標
PCに関する知識を得る。 近代ロック史の理解 オリジナルモデルのコンセプトを企画

評価方法
筆記試験)実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1 業界研究②	9月に行われた工場見学で学んだことをレポートにまとめ、お互いに発表して情報交換を行います。
2 近代ロック史③	現代の多くのアーティストに多大な影響を与えたビートルズを紹介。バンド結成～活動を停止するまでの経緯、代表作や後世に与えた影響について学びます。
3 イベント制作準備①	学園祭に開催する楽器展示等の企画を例に、イベント制作に必要な知識をレクチャーします。
4 イベント制作準備②	学園祭に専攻で担当する企画について、実際にポスター制作等を行い、イベント制作について学びます。
5 イベント制作準備③	前回に引き続き、学園祭に専攻で担当する企画について実際にポスター制作等を行い、イベント制作について学びます。
6 近代ロック史④	現代の多くのアーティストに多大な影響を与えたビートルズ以降、アメリカの音楽シーンを大きく変えたプリティッシュロックについて紹介。代表的なアーティストとその代表作などについて学びます。
7 PCに関する知識①	楽器業界の業務でも必須となっているパソコンの知識について、基本的な扱い方をレクチャーします。
8 PCに関する知識②	楽器業界の業務でも必須となっているパソコンの知識について、インターネットの内容を中心に、検索サイトの有効な利用方法などをレクチャーします。
9 PCに関する知識③	楽器業界の業務でも必須となっているパソコンの知識について、祖チャルネットワークの商用利用やインターネットリテラシーなどについて解説します。
10 PCに関する知識④	楽器業界の業務でも必須となっているパソコンの知識について、excelの基礎を学び、実際に請求書を作成して表計算ソフトの使い方をマスターします。
11 ギター/ベースの企画について①	2年次に製作する3作目作品の製作について、オリジナルモデルのコンセプト設定など企画の手順をレクチャーします。
12 ギター/ベースの企画について②	企画のプレゼンテーションの基礎を学び、前回の授業で作成したオリジナルモデルの企画書をもとに企画内容のプレゼンテーション準備を行います。
13 ギター/ベースの企画について③	3作自身が作成予定のギター/ベースについて企画内容の発表を行い、プレゼンテーションのノウハウを学びます。
14 後期試験	後期「楽器業界概論」で学んだ内容についておさらいし、筆記試験を行ってそれぞれの理解度を確認します。
15 楽器業界概論1まとめ	1年間「楽器業界概論」で学んだ内容をおさらいし、総括を行います。

授業科目		授業時数
音楽技術論		60

学年	学科	専攻
1	楽器ビジネス学科	ギタークラフト専攻

**担当講師(プロフィール)**

横山 友之  
豊かな現場経験をもとに、クラフマンとして必要な知識や技術を伝授。アーティストからの信頼を得るような考え方の育成にも力を注ぐ。

**前期**

**到達目標**

図面作成の基礎知識  
製図の完成度  
1作目STの製作工程の理解度  
刃物の仕立て・工具の使用方法についての理解度

**評価方法**

筆記試験・実技試験・実習評価(課題評価) 小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	1作目の製作工程について	スタンダードなSTについて学び、大まかな工程やルーターの使い方などをレクチャーします。	
2	1作目の製作工程について	基準線、センターラインの決定、図面をもとに各ザグリ位置を確認しザグリ工程の準備を行います。	
3	刃物研ぎについて	刃物、鉋の各部名称や砥石の種類・扱い方について紹介し、刃物研ぎの手順を学びます。	
4	木地研磨、マスキングなど塗装の準備について	木地研磨の必要性を解説、実際の木地研磨の手順やマスキングすべきポイントの確認、マスキングの方法を学びます。	
5	塗料、塗装について	ラッカー系とウレタン系塗料の違いと各塗料の働きについて解説。またカラーリングの手順についてやガンの使用方法についても学びます。	
6	2作目JB、PBについて	スタンダードなJB・PBをはじめ、ベースについて紹介し、2作目JBまたはPBの企画を行います。	
7	図面の書き方、ジグについて	図面を書くときの注意点や基本的な製図方法を紹介。併せて、ジグの製作方法も学びます。	
8	2作目JB・PBの図面を製図しよう①	ギター/ベース特有の設計方法について解説。2作目の作品図面を例に、実際に楽器を設計していきます。	
9	塗装後の仕上げ工程	パフを使った艶出しなど、塗装後の仕上げ工程について解説し、1作目艶出し工程の準備を行います。	
10	2作目JB・PBの図面を製図しよう②	ピックアップの位置によるサウンドの変化を解説。2作目のピックアップの位置を決め、コントロール系ザグリの製図を行います。	
11	2作目JB・PBの図面を製図しよう③	楽器製作時に必要なジグ製作について解説。2作目図面をジグ製作に有効な製図になっているかを確認、修正します。	
12	木材、木取りについて	楽器製作に使用される材木の種類と各木材の特徴、木材の製材方法などを学びます。	
13	ギター、ベースの各パーツについて	ギター/ベースに使用される各パーツの名称を学びます。また、1・2作目に使用したパーツを例に、日本を代表するパーツメーカーGOTOHの製品について解説します。また、有名メーカーとその代表的なモデルなどを学びます。	
14	前期試験	前期「クラフト講義」にて学んだ知識を筆記試験形式で確認し、理解を深めます。	
15	ギター、ベースのコントロールについて	ギター/ベースにおいて、代表的なモデルのコントロールを紹介、サウンドアレンジに与える影響などについて考察します。	

**授業の方法**

講義・演習・実験・実技・実習

**授業概要**

楽器ブランドやメーカーの成り立ちを楽器の歴史を織り交ぜながら学習していきます。将来進んでいく楽器業界そのものを理解することで、就職活動などに生かしていくことを目的とした授業です。  
<実務経験のある教員等による授業科目>

使用教材:

**後期**

**到達目標**

2作目JB・PB製図の完成度  
2作目JB・PBの製作工程の理解度  
ジョイント角がある場合の設計方法の理解度  
3作目ブランニングのオリジナリティ

**評価方法**

筆記試験・実技試験・実習評価(課題評価) 小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	フレット割り(平均率)各スケールについて	音律の歴史について学び、十二平均律を使用したフレット割りの計算を学びます。またギター/ベースの代表的なスケールとその特徴についてもレクチャーします。	
2	楽器のデザイン、セットネック/スルーネックについて	ネックテンションとヘッドテンションについて解説。ギターベースのネック接続方法のうちセットネック、スルーネックの構造と特徴を学びます。	
3	楽器の細部のデザインについて	ヒール、グリップ、ポリュートの形状など、ギター/ベースのディテールについてレクチャー、オリジナルモデルのボディ/ヘッドシェイプのデザインについて学びます。	
4	代表的なメーカーの製品について①	ギターメーカーGibson社の各製品を紹介、スタンダードな機種の特徴について学びます。	
5	代表的なメーカーの製品について②	ギターメーカーFender社の各製品を紹介、スタンダードな機種の特徴について学びます。	
6	代表的なメーカーの製品について③	ギターメーカーPRS社、Steinberger社の各製品を紹介、スタンダードな機種の特徴について学びます。	
7	代表的なメーカーの製品について④	ギターメーカーRickenbacker社、Gretsch社の各製品を紹介、スタンダードな機種の特徴について学びます。	
8	代表的なメーカーの製品について⑤	ここまで学んだギターメーカー以外のその他の有名メーカーとその代表モデルについて解説します。	
9	3作目のブランニング	3作目製作のセットネック/スルーネック構造、シースルーカラーを使用したオリジナルモデルのブランニングを行います。	
10	3作目の製図	アングルヘッドのギター/ベースの楽器の設計について解説。ギブソン系ギターの構造を学びます。	
11	3作目の製図	アーチドトップの楽器の構造、アーチの量の設定方法やアーチドトップ特有の設計方法について学びます。	
12	3作目の製図	3作目に製作する作品の工程に基き、実際に設計と製図を行います。	
13	3作目の製図	前日に引き続き、3作目に製作する作品の工程に基き、実際に設計と製図を行います。	
14	後期試験	後期「クラフト講義」にて学んだ知識を筆記試験形式で確認し、理解を深めます。	
15	3作目(セットネック/スルーネック)の製作工程	3作目セットネック/スルーネックのネック製作における具体的な工程について解説、製作準備を行います。	

授業科目		授業時数
イベント制作		32
学年	学科	専攻
1	楽器ビジネス学科	ギタークラフト専攻
担当講師(プロフィール)		
<p>横山 友之            豊かな現場経験をもとに、クラフマンとして必要な知識や技術を伝授。            アーティストからの信頼を得るような考え方の育成にも力を注ぐ。</p>		
前期		
到達目標		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
<p>授業で制作した作品の展示会や中古楽器販売の模擬実習等の企画・運営を通して、楽器を扱うスペシャリストとしての知見を広める実習を行っています。            &lt;実務経験のある教員等による授業科目&gt;</p>	
使用教材:	
後期	
到達目標	
<p>学校全体の行事として実施、各学科の特徴を生かしたかたちで成果発表を盛り込む。学年及び各学科・専攻により制作レベルには違いはあるが、学校全体としての大きな目標を理解して進める。</p>	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	<p>全体構想 過去のイベントを参考に、「イベント」といわれる催事についての解説を行い、各学科が習得している内容を生かすヒントを与えていく。そして、大きな仕組みの理解をしてもらう。</p>
2	<p>イベント準備 今回のイベント趣旨やその目的等をわかりやすく解説。公募されるものの仕組みや学生全体で担当する具体的なものを紹介していく。</p>
3	<p>参加内容 自分たちの参加内容をアイデア出し、企画・プランニングしていく。学科・専攻で参加するものやグループ・個人で出演やコンテンツ参加等、いろんな関わり方を知ってもらう。</p>
4	<p>制作① 具体的な計画術を学んでいく。具体的に作る作業内容、そこから導くチェックリスト、制作スケジュールや予算等を明確にしていく。</p>
5	<p>制作② 担当別にグループや個人に依頼して割り振る考え方を持っていく。そのための期限等は、その次のスケジュールに影響を及ぼすことも学んでいく。</p>
6	<p>制作③ 広報的な内容にも理解を示していく。実際には、どれだけの集客を望めたのかが結果として出てくるものになるので、その集計やアンケート回収などの知識を学ぶ。</p>
7	<p>実施運営① 具体的な用意(仕込み/準備等)を行う。担当箇所の運営にあたる人のスケジュールを作成。その担当者のチェック項目を明確にするもの等を揃えて実施運営としていく。また簡単なルール・マニュアル作りも大切な要素となる。</p>
8	<p>実施運営② 実施運営を行い、最終的なものとしての撤収作業。準備時間よりも早く終わるものだが、廃棄・保存・記録等の作業が次年度に関係してくるものとなる。</p>
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

授業科目		授業時数
業界研究		68

学年	学科	専攻
1	楽器ビジネス学科	ギタークラフト専攻

**担当講師(プロフィール)**  
 横山 友之  
 豊かな現場経験をもとに、クラフトマンとして必要な知識や技術を伝授。アーティストからの信頼を得るような考え方の育成にも力を注ぐ。

**前期 到達目標**  
 目指す業界の基本的な仕事内容を理解していく。他の実習授業との兼ね合いも関連していくことを十分に理解して学内外のイベントや実習に触れていく。

**評価方法**  
 筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・**その他**

授業計画	
授業項目	実施内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

**授業の方法**  
 講義・演習・実験・実技・**実習**

**授業概要**  
 楽器業界について様々な角度から研究する授業です。業界就職についての対策講座や、楽器工場・メーカーの見学、他専攻・講師等から持ち込まれる楽器に対してよりリアルに技術を磨いていきます。  
 <実務経験のある教員等による授業科目>

**使用教材:**

**後期 到達目標**  
 学内の基本的な実習内容を理解した上で、他の学科との関係性を考える。自分自身が携わる部分を意識出来るようにしてもらい、その業界での仕事スタイルや慣習を学ぶ。

**評価方法**  
 筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・**その他**

授業計画	
授業項目	実施内容
1	工場見学 (16) 1泊2日で長野県～岐阜県・愛知県を訪ねる。著名な楽器メーカーや原料となる木材を扱う問屋を見学、流れ作業的に工程管理されている工場の各セクションを観ると業界を感じることができる。
2	就活対策講座 (8) 「就職」という内容に対する基礎的な知識や心構えを吸収していく。工房・工場・メンテナンス・楽器店・関連業種等、仕事内容的な違いも理解する。
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

授業科目		授業時数
クラフト実習		300

学年	学科	専攻
1	楽器ビジネス学科	ギタークラフト専攻

**担当講師(プロフィール)**  
**松原 真人**  
 楽器工場で楽器製作に携わり現在は個人工房を営む経験を活かして、楽器製作に必要な木工・塗装・組み込み工程に関する指導を行う。

前期
到達目標
木工技術 塗装技術 作業効率作業内容の理解度 材料、パーツなど楽器にまつわる知識

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	1	工具の名称・使い方	教材で配布されている工具についての名称、使い方、注意点などをレクチャーしていきます。
2	2	電動工具の名称・使い方	教室にあるルーター、トリマー、ピンルーターなどの電動工具の使用法や注意点を実際に使ってレクチャーしていきます。
3	3	刃物研ぎ①	ギター製作に移る前に使用する刃物等を使える状態に準備をしていきます。 まずは砥石の仕立て、刃物の仕組みについて解説をしていきます。その後、南京錠、鑿の刃物研ぎ方を学びます。
4	4	刃物研ぎ②	ギター製作に移る前に使用する刃物等を使える状態に準備をしていきます。 南京錠の台の仕立てを行います。
5	5	パッド製作①	ギター製作に移る前に使用する制作に使用する、すり板の製作を行います。
6	6	パッド製作②	ギター製作に移る前に使用する制作に使用するパッドを大・小、製作の製作していきます。
7	7	パッド製作③	ギター製作に移る前に使用する制作に使用するRパッドの製作をしていきます。
8	8	1作目STについて	1本目のストラトキャスターの製作工程概要について説明を行い、その準備をしていきます。
9	9	1作目STルーター加工①	基準線の設定し、ジグの取り付けを行っていきます。
10	10	1作目STルーター加工②	ハンドルーターを使いザグリ加工を行います。
11	11	1作目ST木地研磨①	アルダー材のボディの木地研磨を行います。
12	12	1作目ST木地研磨②	木地研磨仕上げを行いその後マスキングをしていきます。
13	13	1作目塗装工程①	ウッドシーラーの吹き付けを行い研磨作業も行います。
14	14	1作目塗装工程②	サンディングシーラーの吹き付けを行います。
15	15	1作目塗装工程③	サンディング研磨を行いトップコート吹き付けます。

授業の方法
講義・演習・実験・実技 <b>実習</b>
授業概要
楽器ブランドやメーカーの成り立ちを楽器の歴史を織り交ぜながら学習していきます。将来進んでいく楽器業界そのものを理解することで、就職活動などに生かしていくことを目的とした授業です。 ＜実務経験のある教員等による授業科目＞
使用教材: 工具一式

後期
到達目標
木工技術 塗装技術 作業効率作業内容の理解度 材料、パーツなど楽器にまつわる知識

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	1	1作目ST水研ぎ①	水研ぎを行うにあたり、水研ぎにおける注意点を説明し、またペーパーの選択の仕方学びます。
2	2	1作目ST水研ぎ②	前回の内容に注意しながら水研ぎ工程を行っていきます。
3	3	1作目STバフあて	バフによる艶出しを行います。
4	4	1作目STバフあて	バフを使い、艶出しの最終仕上げを行います。
5	5	2作目ジグ製作①	ジャズベース/プレジジョンベース(JB/PB)のジグについての説明を行い、実際の製作工程に移っていきます。
6	6	2作目ジグ製作②	2作目のジグを製作していきます。
7	7	2作目ボディ加工①	ピンルーターを使用して外周加工を行っていきます。
8	8	2作目ボディ・ネック加工②	ハンドルーターを使い、ザグリ加工を行います。
9	9	2作目ボディ・ネック加工③	ボディ・ネックのR加工、エルボーコンター加工を行います。
10	10	2作目木地研磨	JB・PBのボディの木地研磨を行います。
11	11	2作目塗装工程①	マスキングをして、ウッドシーラー吹き付けを行います。
12	12	2作目塗装工程②	ウッドシーラー研磨研磨を行い、サンディングシーラーを吹き付けます。
13	13	2作目塗装工程③	サンディングシーラーを吹き付けたのち、トップコートを吹き付けます。
14	14	2作目水研ぎ	JB・PBの水研ぎを行います。
15	15	2作目バフあて①	JB・PBの艶出しの工程を行います。

授業科目		授業時数
リペア実習		240

学年	学科	専攻
1	楽器ビジネス学科	ギタークラフト専攻

担当講師(プロフィール)	
<b>榎本 卓司</b> リペアマンとして信頼される実力を養うために様々な楽器の現状の見極め方や留意点等を、長い現場経験をもとに指導する。	

前期	
到達目標	
切削加工技術/楽器調整技術 楽器の取り扱い 作業スピード 独自の工夫、応用力	

評価方法	
(筆記試験)実技試験・実習評価(課題評価)・小テスト・その他	

授業計画		授業項目	実施内容
1	年間の授業ガイダンス	一年間「リペア実習1」で取り扱う修理・調整について解説し、到達目標の確認を行います。	
2	ネック枕、各種バッド製作①	平面とはどういうことを解説、その確認方法を学び、実際に木材のフラット、平行を出す作業を行います。	
3	ネック枕、各種バッド製作②	大型の電動機器・バンドソーを使ったラフカット方法をレクチャー、木材の大きな成型方法を学びます。	
4	ネック枕、各種バッド製作③	リペア作業等に使用する工具のより使いやすい仕立て方や実際の使用方法などを解説します。	
5	リペアー用ギター調整、分解、組み立て①	スタンダードなSTタイプギターの分解方法と作業における注意点や、各パーツの名称、役割について解説します。	
6	リペアー用ギター調整、分解、組み立て②	スタンダードなSTタイプギターの各種調整方法、標準的な数値等について解説、各調整が与えるサウンド面、プレイヤビリティ面における影響を学びます。	
7	リペアー用ギター調整、分解、組み立て③	教材のSTタイプギターを使用し、実際に指定された数値、状態に調整する実習を行います。	
8	ナット交換①	スタンダードなSTタイプのナットの取り外し方法や、交換材料の大きな成型について解説、実際に加工を行います。	
9	ナット交換②	スタンダードなSTタイプナット溝の位置決めについて基本的な方法の解説、実際に教材のSTタイプギターを使用し位置決めを行います。	
10	ナット交換③	教材のSTタイプギターを使用し、実際にナット溝を加工、外形成型、仕上げをする実習を行います。	
11	フレット摺り合わせ①	ギター/ベースに使用されるフレットの構造と種類、その取り扱い方法について学びます。	
12	フレット摺り合わせ②	デタッチャブルタイプネックのフレットのチェック方法とフレット浮きがあった場合の対処方法にすいてレクチャーします。	
13	フレット摺り合わせ③	ギター/ベースのフレット摺り合わせに必要なマスキング技術を紹介、実際に教材のSTタイプギターを使用して摺り合わせの実習を行います。	
14	前期試験	前期に学んだことをもとに、ギター全体の再調整実習を行い、理解度をチェックします。	
15	フレット摺り合わせ④	ギター/ベースのフレット摺り合わせを行った後のフレット仕上げについて解説、実際に教材のSTタイプギターを使用してフレット仕上げの実習を行います。	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技(実習)	

授業概要	
楽器ブランドやメーカーの成り立ちを楽器の歴史を織り交ぜながら学習していきます。将来進んでいく楽器業界そのものを理解することで、就職活動などに生かしていくことを目的とした授業です。 <実務経験のある教員等による授業科目>	
使用教材:	

後期	
到達目標	
切削加工技術/楽器調整技術 楽器の取り扱い 作業スピード 独自の工夫、応用力	

評価方法	
(筆記試験)実技試験・実習評価(課題評価)小テスト・その他	

授業計画		授業項目	実施内容
1	裏パネル製作①	スタンダードなSTタイプギターの裏パネルのジグ製作を行います。	
2	裏パネル製作②	テーブルルーターを使用してスタンダードなSTタイプ裏パネルを製作します。	
3	ピックガード製作①	スタンダードなSTタイプギターのピックガード製作工程についてレクチャー、ジグ製作を行います。	
4	ピックガード製作②	前回製作したジグをもとに、テーブルルーターを使用してスタンダードなSTタイプピックガード製作を行います。	
5	ピックガード製作③	前回製作したピックガードを教材のSTタイプギターに組み込み換装、全体的な調整を行います。	
6	フレット交換①	デタッチャブルネックタイプのギター/ベースのフレット交換手順について学びます。	
7	フレット交換②	フレット交換において、古いフレットの抜き方とフレット打ち換えの下準備を解説、実際に教材のSTタイプギターのフレット交換の準備を行います。	
8	フレット交換③	教材のSTタイプギターを使用して、実際にフレット打ち込み実習を行います。	
9	フレット交換④	スタンダードなフレットエッジ処理の種類を解説、実際に教材のSTタイプギターを使用してエッジ処理実習を行います。	
10	フレット交換④	教材のSTタイプギターを使用して、摺り合わせ、組み込み調整の自習を行います。	
11	ストラトキャスター組み込み①	クラフト実習で製作した1作目STタイプギターを使用し、フレット等ネックの仕上げを行います。	
12	ストラトキャスター組み込み②	クラフト実習で製作した1作目STタイプギターを使用し、ネックジョイントと各種パーツの組み込み工程を行います。	
13	ストラトキャスター組み込み③	クラフト実習で製作した1作目STタイプギターを使用し、ナット加工等を行います。	
14	後期試験	クラフト実習で製作した1作目STタイプギターを使用し、最終調整したものを評価、必要なスキルを各自確認します。	
15	ストラトキャスター組み込み④	STタイプギター組み込み工程全体の振り返りと必要があれば修正を行います。	

授業科目		授業時数
エレクトロニクス		120

学年	学科	専攻
1	楽器ビジネス学科	ギタークラフト専攻

担当講師(プロフィール)	
金谷 昇治 エフェクターやアンプ、音響機器の修理・製造などに長年にわたって関わった経験をもとに、楽器にまつわる電気の知識を指導する。	

前期	
到達目標	
半田付けの技術 サーキットの理解 コンデンサー抵抗の特徴の理解 ケーブル処理の技術	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画		授業項目	実施内容
1	ガイダンス	1	年間に学ぶ電気の知識についての概要をレクチャーしていきます。
2	周波数とは	2	周波数に焦点を当て、CGS単位、電気と音と周波数の関係についての講義を行います。
3	ギターシールド製作	3	基本的なシールドケーブルの構造や種類について学んでいきます。
4	ギターシールド製作	4	プラグの形状を理解し、はんだ付けの注意点を学びます。
5	ギターシールド製作	5	ケーブルの処理方法を学びその際のはんだ付けの注意点を学んでいきます。
6	電流、電圧、抵抗	6	電気の流れと抵抗の種類、読み方、合成抵抗など、電気に関する基本的な知識を復習していきます。
7	抵抗の計算	7	抵抗の計算を行う上での分圧の法則、キルヒホッフの法則を学んでいきます。
8	抵抗の計算	8	前回学んだ分圧の法則を用いて実験を行います。
9	コンデンサーの構造	9	コンデンサーの基本構造と働きを学んでいきます。また、様々な種類のコンデンサーを特性を紹介しながら学んでいきます。
10	ピックアップの構造とインダクタンスの概念	10	エレキギター、ベースに使用されるピックアップについて、その仕組みや構造を解説していきます。
11	ピックアップの構造とインダクタンスの概念	11	ハムバックのピックアップの仕組みを解説し、シングルタイプとの違いや特性を学びます。
12	実態配線図、配線図によるサーキット	12	実態配線図と配線図の違いについて学んでいきます。
13	実態配線図、配線図によるサーキット	13	ストラトのサーキットを実際に楽器を用いて理解していきます。
14	前期試験	14	
15	実態配線図、配線図によるサーキット	15	・ストラトのサーキットを実際に配線図に起こしていきます。

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	

授業概要	
楽器ブランドやメーカーの成り立ちを楽器の歴史を織り交ぜながら学習していきます。将来進んでいく楽器業界そのものを理解することで、就職活動などに生かしていくことを目的とした授業です。 <実務経験のある教員等による授業科目>	
使用教材: 工具一式	

後期	
到達目標	
基盤の制作と理解 基礎的な電気理論についての理解	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画		授業項目	実施内容
1	ギターサーキットの復習	1	前期に学んだ、スタンダードなサーキットについての復習を行います。
2	ギターサーキットの復習	2	実際にスタンダードなサーキットを配線していきます。
3	オームの法則、仕事率の計算	3	電圧/電流/抵抗の関係、ワット(W)について基本的な内容を改めて学んでいきます。
4	導体、絶縁体、半導体	4	導体、絶縁体、半導体についての個々の特性や違いを理解していきます。
5	LEDの点灯	5	LEDを使用する際の方法、注意点などを学びます。
6	トランジスタ、FET、ダイオード、IC	6	トランジスタ、FETとは何なのかを特性を含めて解説していきます。
7	トランジスタ、FET、ダイオード、IC	7	ダイオード、ICについての特性、を解説していきます。
8	バッファアンプの製作	8	バッファアンプ制作にあたり、バッファアンプとは何なのかをレクチャーしていきます。
9	バッファアンプの製作	9	前回のレクチャーを受けて実際にバッファアンプを実際に製作していきます。
10	バッファアンプの製作	10	前回に引き続きバッファアンプを製作していきます。
11	蛇の目基盤を使っての実習	11	蛇の目基盤を使いエフェクターの製作を行っていきます。エフェクターとしては比較的シンプルな構造のファズを製作していきます。
12	蛇の目基盤を使っての実習	12	前回に引き続きファズの製作を行います。
13	エフェクター等の製作	13	ファズが完成したのち、その他のエフェクターの製作に取り掛かります。
14	後期試験	14	
15	エフェクター等の製作	15	前々回のエフェクター製作の続きを行います。

授業科目		授業時数
音響基礎		60

学年	学科	専攻
1	楽器ビジネス学科	ギタークラフト専攻

**担当講師(プロフィール)**  
**伊東 克彦**  
 長年にわたりレコーディングやライブの音響エンジニアとして活躍。音響現場において必要とされる知識や技術の指導を行う。

**前期**  
**到達目標**  
 実際の現場ではじめに必要とされる基本的な作業を確実に身に付ける。

**評価方法**  
 筆記試験(実技試験) 実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	年間の授業ガイダンス	一年間の「音響基礎」授業内で取り扱う内容や機材等について、レクチャーしていきます。	
2	マイクケーブルの収束 1	PAの現場で使用されるマイクケーブルの種類や取り扱い方、収束方法などをレクチャーしていきます。	
3	マイクケーブルの収束 2 ・マイクケーブルの収束実習	マイクケーブルの収束方法について実習形式で学び、より実践的な取り扱い方法を身に付けます。	
4	基礎音響理論	PAの現場で必要とされる音響理論について、基本から応用まで幅広く学びます。	
5	マイクロフォンの基礎知識	音響の現場で使用される代表的なマイクについて、様々な機種に実際に触れながら、その特徴や主な用途について学びます。	
6	マイクロフォンの取扱い	前回学んだ音響の現場で使用される代表的なマイクについて、実際に音を出しながら、取り扱い方法の注意点などについてレクチャーします。	
7	マイクスタンドの取扱い 1	音響の現場で使用されるさまざまな形状のマイクスタンドを紹介、それぞれの特徴と主な用途について学び、取り扱い方法を学びます。	
8	マイクスタンドの取扱い 2	前回学んだ様々な形状のマイクスタンドについて、実際の現場に即した使い分けを実習形式で学びます。	
9	スピーカースタンドの取扱い 1	音響の現場で使用される代表的なスピーカースタンドを紹介、それぞれの特徴と主な用途について学び、取り扱い方法を学びます。	
10	スピーカースタンドの取扱い 2	前回学んだ代表的なスピーカースタンドについて、実際の現場に即した使い分けを実習形式で学びます。	
11	マルチケーブルの収束	音響の現場で使用される代表的なマルチケーブルの仕組みと使用方法について学び、取り扱い方法を実習形式で学びます。	
12	基本的な作業の練習 1	実際の音響現場と同様のPA機器を使用し、設営、音出し、撤収の方法と各注意点を実習形式で学びます。	
13	基本的な作業の練習 2	前回に引き続き、実際の音響現場と同様のPA機器を使用し、設営、音出し、撤収の方法と各注意点を実習形式で学びます。	
14	前期実技試験 1	前回までに学んだPA機器の取り扱い方を総合的にチェック、問題点の抽出と改善方法についてレクチャーします。	
15	用語や記号	音響の現場で使用される専門用語や機材名などを紹介。資料の見方や作成時の注意点などについて学びます。	

**授業の方法**  
 講義・演習・実験・実技・**実習**

**授業概要**  
 楽器ブランドやメーカーの成り立ちを楽器の歴史を織り交ぜながら学習していきます。将来進んでいく楽器業界そのものを理解することで、就職活動などに生かしていくことを目的とした授業です。  
 <実務経験のある教員等による授業科目>

**使用教材:**

**後期**  
**到達目標**  
 小規模PAシステムの理解と実践

**評価方法**  
 筆記試験(実技試験) 実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	伝送回路の基礎知識 1	実際の音響機器を例に、インピーダンス整合とは何かを説明し、インピーダンス、整合の具体的な方法について解説していきます。	
2	伝送回路の基礎知識 2	バランス伝送とアンバランス伝送について、その仕組みとそれぞれの特徴についてレクチャー。実際の音響現場でどのように使用されるかを解説していきます。	
3	パワーアンプ ・PAで使用される様々なパワーアンプについて	音響の現場で使用されるパワーアンプとは何か、また代表的な機種等について解説。実際の取り扱いについて注意点を学びます。	
4	スピーカー ・PAで使用される様々なスピーカーについて	音響の現場で使用されるスピーカーの構造と代表的な機種等について解説。実際の取り扱いについて注意点を学びます。	
5	スピーカーの設置 ・スピーカーの設置実習	前回学んだPA用スピーカーについて、実際の設置と安全な使用方法を実習形式で学びます。	
6	セッティングとチェックの手順 1 ・PA機器のセッティング概要	これまでに学んだPA機器の使用方法を再度確認、実際に設置する手順や方法をレクチャーします。	
7	セッティングとチェックの手順 2 ・PA機器のチェックの仕方	前回学んだPA機器の設置手順をもとに、プランに基づいた音響システムの設置方法を実習形式で学びます。	
8	楽器のセッティング ・ドラムのセッティングについて	ライブなどの現場で使用されるドラムについて、音響的側面から解説、基本的なセッティングやマイキングなどを解説します。	
9	楽器のセッティング ・ギター/ベースのセッティング	ライブなどの現場で使用されるギター/ベースのアンプについて、音響的側面から解説、基本的なセッティングなどをレクチャーします。	
10	楽器のセッティング ・キーボードのセッティング	ライブなどの現場で使用されるキーボード/エレクトリックピアノについて、音響的側面から解説、基本的なセッティングや代表的な機種などを解説します。	
11	セッティングとチェックの作業 1 ・音響機器を使ったセッティング実習	ステージで使用する楽器を含め、PA音響機器を使ってステージのセッティングを実習形式で学びます。	
12	セッティングとチェックの作業 2 ・音響機器を使った機材チェックの実	ステージ上の楽器とPA音響機器をセッティングし、そのチェック方法を具体的にレクチャーします。	
13	セッティングとチェックの作業 3 ・実際のオペレートとステージワーク	PAオペレーターチームとステージスタッフチームに分かれ、ステージの楽器を含む音響機器のセッティングからオペレート、ステージワークを実習形式で学びます。	
14	後期実技試験	実際のライブハウスを想定したステージ上とPA音響機器のセッティングに関して実技試験を行います。	
15	年間のまとめ ・1年間の授業内容の総括	1年間で学んだ知識・技術をさらい、2年次「音響基礎」につなげていきます。	

授業科目		授業時数
業界概論		60

学年	学科	専攻
2	楽器ビジネス学科	ギタークラフト専攻

担当講師(プロフィール)	
横山 友之 豊かな現場経験をもとに、クラフトマンとして必要な知識や技術を伝授。アーティストからの信頼を得るような考え方の育成にも力を注ぐ。	

前期	
到達目標	
知的財産権についての理解 グループディスカッションの理解 グループワークの理解	

評価方法	
筆記試験 実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画	
授業項目	実施内容
1 授業ガイダンス	一年間「楽器業界概論」にて扱う授業内容のガイダンスを行います。
2 知的財産権について①・著作権について	「著作権」の考え方と種類について解説。楽曲等の取り扱い時に注意が必要な点などを学びます。
3 知的財産権について②・特許/意匠登録について	「特許/意匠登録」の考え方と種類について解説。楽器製作などの際に注意が必要な点や、その取得方法などを学びます。
4 近代ロック史⑤・ウッドストック	60年代後半からのヒッピー文化などが音楽に与えた影響を、ウッドストックフェスティバルの映像などを交え紹介、同年代に流行したアーティストや楽曲について学びます。
5 近代ロック史⑥・ハードロック・プログレッシブロック	70年代～80年代に流行した「ハードロック」「プログレッシブロック」について紹介、その成り立ちと特徴、代表的なアーティストや楽曲について学びます。
6 就職活動にまつわる実習①・グループディスカッションについて	就職活動における選考で行われるグループディスカッションについて、攻略方法や各役割の解説を行います。
7 就職活動にまつわる実習②・グループディスカッション実習	前回は学んだグループディスカッションに関する知識をもとに、実際に実習を行い、各自の問題点や改善点について理解を深めます。
8 業界研究②・活躍する卒業生による特別授業	業界で活動する卒業生や第一線で活躍する業界人を招き、専門分野や普段の業務について解説してもらいます。
9 業界研究③・活躍する卒業生による特別授業	業界で活動する卒業生や第一線で活躍する業界人を招き、専門分野や普段の業務について解説してもらいます。
10 就職活動にまつわる実習③・グループワーク	就職活動における選考で行われるグループワークについて、攻略方法や各役割の解説を行い、その後に実習を行い理解を深めていきます。
11 サンプル製作実習①・サンプル製作の企画	クラフト実習とは違った、複数人で楽器製作を行うチームビルドによる楽器製作の企画を行い、チーム内で意見交換を行います。
12 サンプル製作実習②・サンプル製作の製作工程プラン作成	前回行った複数人で楽器製作を行うチームビルドによる楽器製作の企画をもとに、制作工程のプランニングを行います。
13 一般常識/ビジネスマナー③・税金/健康保険について	卒業後の業界での仕事に必要な不可欠な税金や健康保険について、種類やその違いなどを学びます。
14 前期試験	前期「楽器業界概論2」で学んだ内容について筆記試験を行い、理解度を確認します。
15 業界研究⑤・会社訪問の計画	就職活動における会社訪問の仕方をレクチャー。自身が長期休み中に訪問予定の企業について、実際に計画を立てます。

授業の方法	
講義 演習・実験・実技・実習	

授業概要	
楽器ブランドやメーカーの成り立ちを楽器の歴史を織り交ぜながら学習していきます。将来進んでいく楽器業界のものを理解することで、就職活動などに生かしていくことを目的とした授業です。<実務経験のある教員等による授業科目>	
使用教材:	

後期	
到達目標	
PCに関する知識を持ちヘッドロゴのデザインが出来る 近代ロック史の理解 学祭を通じて店舗運営の知識を得る	

評価方法	
筆記試験 実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画	
授業項目	実施内容
1 PCに関する知識④・Illustrator/Photoshopについて	楽器業界でも必須となりつつあるPCアプリケーション、Illustrator/Photoshopについて解説。基本的な操作方法などを学びます。
2 PCに関する知識⑤・Illustratorを使ってヘッドロゴのデザイン	楽器業界でも必須となりつつあるPCアプリケーション、Illustratorを使用してオリジナルヘッドロゴのデザインをするための下準備を行います。
3 イベント制作準備①・学園祭内に開催する楽器店のイベント制作準備	学園祭にて開催する模擬店(楽器店)について計画を立て、店舗運営などについて学びます。
4 イベント制作準備②・学園祭内に開催する楽器店のイベント制作準備	前回は引き続き、学園祭にて開催する模擬店(楽器店)について計画・準備を行い、店舗運営などについて学びます。
5 イベント制作準備③・学園祭内に開催する楽器店のイベント制作準備	前回は引き続き、学園祭にて開催する模擬店(楽器店)について計画・準備を行い、店舗運営などについて学びます。
6 イベント制作準備④・イベント制作の振り返り	学園祭にて開催した模擬店(楽器店)について、振り返りを行い、改善点などについてディスカッションを行います。
7 PCに関する知識⑥・Illustratorを使ってヘッドロゴのデザイン	楽器業界でも必須となりつつあるPCアプリケーション、Illustratorを使用し、実際にオリジナルヘッドロゴのデザインを行います。
8 PCに関する知識⑦・Illustratorを使ってヘッドロゴのデザイン	前回は引き続き、楽器業界でも必須となりつつあるPCアプリケーション、Illustratorを使用し、実際にオリジナルヘッドロゴのデザインを行います。
9 近代ロック史⑦・グラムロック/パンクロック/ニューウェイブ	70年代～80年代に流行したグラムロックやパンクロックについて、その時代背景と共に紹介、代表的なアーティストや楽曲について学びます。
10 近代ロック史⑧・ファンク	60年代後半～80年代に流行したファンクについて、その時代背景と共に紹介、代表的なアーティストや楽曲について学びます。
11 近代ロック史⑨・ジャズ	近代音楽にも多大な影響を与えたジャズについて、大まかなジャンル分けと代表するアーティスト・楽曲を解説します。
12 一般常識・ビジネスマナー④・事業計画書について	独立する際に作成する必要がある事業計画とはどういったものをレクチャー。作成が必要になるシチュエーションなどについても解説を行います。
13 業界研究④・活躍する卒業生による特別授業	業界で活動する卒業生や第一線で活躍する業界人を招き、専門分野や普段の業務について解説してもらいます。
14 後期試験	後期「楽器業界概論2」で学んだ内容について筆記試験を行い、理解度を確認します。
15 楽器業界概論2まとめ	一年間の楽器業界概論で学んだことをおさらいし、業界への理解を深めます。

授業科目		授業時数
ヴィンテージゼミ		60
学年	学科	専攻
2	楽器ビジネス学科	ギタークラフト専攻
担当講師(プロフィール)		
園尾 幸一 ビンテージショップの経営者・リペアマンとして関西楽器業界で活躍。長い業界経験からなる、楽器にまつわる豊富な知識をレクチャーする。		

前期	
到達目標	
ヴィンテージギターの知識 ヴィンテージギターに対する探究心 ヴィンテージギターを技術に反映 ヴィンテージギターに対するリスペクト	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画		実施内容
1	年間の授業ガイダンス	ヴィンテージゼミで紹介するメーカーについての概要を説明していきます。
2	vintageとは	ヴィンテージとオールドの違いについて解説し、学んでいきます。
3	ヴィンテージギター/ベース	Fender社のStratcasterについて、歴史を学び各年代によっての作りの違いについて理解を深めていきます。
4	ヴィンテージギター/ベース	Gibson社のLes Paulについて、歴史を学び、各年代によっての違いを学んでいきます。
5	ヴィンテージギター/ベース	Telecasterの年代によっての違いについて学び、理解を深めていきます。
6	ヴィンテージギター/ベース	BassのPBタイプ・JBタイプの歴史を学び各年代によっての作りの違いや音の違いについて理解を深めていきます。
7	ヴィンテージギター/ベース	セミアコ特に、ES-335TDについての各年代によっての違いについてレクチャーをしていきます。
8	ヴィンテージギター/ベース	Martin社のアコースティックギターについての年代やモデルについての違いを解説していきます。
9	ヴィンテージギター/ベース	Gibson社のSG・Firebird・FV・Explorerなどの歴史や各年代によっての違いについてレクチャーをしていきます。
10	ヴィンテージギター/ベース	Rickenbacker社、Gretsch社のギター、ベースについての特徴を理解し、年代によっての特徴を解説していきます。
11	ヴィンテージギター/ベース	Fender社Marshall社のアンプについて、その歴史や代表的なモデルを紹介していきます。
12	ヴィンテージギター/ベース	Marshall社のアンプについての歴史や過去に発売されたモデルの特徴を理解していきます。
13	ヴィンテージギター/ベース	Fender社のJazzMasterやJaguarの歴史、特徴をレクチャーしていきます。
14	ヴィンテージギター/ベース	所謂Japan Vintageと呼ばれる代表的なメーカー、モデルを解説していきます。
15	前期試験	
16	前期試験振り返り	前期の授業内容を振り返り、まとめていきます。

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
取り扱いが難しく復元の方法も限定されるオールド楽器の特徴を、調整・修理の際に必要なとなる楽器別の知識や注意点と合わせて学びます。オールド楽器への理解を深めることを目的とした授業です。<実務経験のある教員等による授業科目>	
使用教材:	

後期	
到達目標	
ヴィンテージギターの知識 ヴィンテージギターに対する探究心 ヴィンテージギターを技術に反映 ヴィンテージギターに対するリスペクト	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画		実施内容
1	ヴィンテージギター/ベース	1970年代のギター(USA) Alembicなどの歴史や特徴を解説していきます。
2	ヴィンテージギター/ベース	Mosrite社のギターについて、歴史や特徴を解説し、現在の状況を解説していく。
3	ヴィンテージギター/ベース	Zemaitis社のギター・ベースについての歴史や特徴を解説していく。
4	ヴィンテージギター/ベース	Gibson社のアコースティックギターフラットTOPについての歴史や特徴を解説していく。
5	ヴィンテージギター/ベース	Gibson社のフルアコースティックギターアーチドTOPの歴史や特徴を解説していく。
6	ヴィンテージギターに関する実習	各社のヴィンテージ楽器を学んできた中で、ヴィンテージといわれる楽器の特徴を解説していく。
7	ヴィンテージギターに関する実習	ヴィンテージの取り扱い方について注意すべき点を学んでいく。
8	ヴィンテージギターに関する実習	ヴィンテージの取り扱い方について注意すべき点を学んでいく。
9	ヴィンテージギターに関する実習	実際に中古楽器をメンテナンスして、その方法や注意すべき点を学ぶ。
10	ヴィンテージギターに関する実習	実際に中古楽器をメンテナンスして、その方法や注意すべき点を学ぶ。
11	ヴィンテージギターに関する実習	実際に中古楽器をメンテナンスして、その方法や注意すべき点を学ぶ。
12	ヴィンテージギターに関する実習	実際に中古楽器をメンテナンスして、その方法や注意すべき点を学ぶ。
13	ヴィンテージギターに関する実習	実際に中古楽器をメンテナンスして、その方法や注意すべき点を学ぶ。
14	後期試験	
15	ヴィンテージゼミまとめ	年間の授業を振り返っての総括、ヴィンテージ楽器についての理解や取り扱いを深めていく。

授業科目		授業時数
イベント制作		32
学年	学科	専攻
2	楽器ビジネス学科	ギタークラフト専攻
担当講師(プロフィール)		
横山 友之 豊かな現場経験をもとに、クラフトマンとして必要な知識や技術を伝授。アーティストからの信頼を得るような考え方の育成にも力を注ぐ。		

前期	
到達目標	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画		実施内容
授業項目		
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
授業で制作した作品の展示会や中古楽器販売の模擬実習等の企画・運営を通して、楽器を扱うスペシャリストとしての知見を広める実習を行っています。 ＜実務経験のある教員等による授業科目＞	
使用教材:	

後期	
到達目標	
学校全体の行事として実施、各学科の特徴を生かしたかたちで成果発表を盛り込む。学年及び各学科・専攻により制作レベルには違いはあるが、学校全体としての大きな目標を理解して進める。2年次は、後輩となる1年の指導もイベント制作の重要項目となる。	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画		実施内容
授業項目		
1	全体構想	2年目の「イベント」として昨年の反省を踏まえ、各学科が習得している内容を生かせる工夫をしていく。また、全体の動きを理解して、色んな担当を任せていく。
2	イベント準備	今回のイベント趣旨やその目的等をわかりやすく解説。公募されるものの内容、学生全体で担当する具体的なものに参加していく。
3	参加内容	自分たちの参加内容をアイデア出し、企画・プランニングしていく。学科・専攻で参加するものやグループ・個人で出演やコンテンツ参加等、いろんな関わり方を知ってもらう。
4	制作①	具体的な計画術を学んでいく。具体的に作る作業内容、そこから導くチェックリスト、制作スケジュールや予算等を明確にしていく。
5	制作②	担当別にグループや個人に依頼して割り振る考え方を持っていく。そのための期限等は、その次のスケジュールに影響を及ぼすことも学んでいく。
6	制作③	広範囲の内容にも理解を示していく。実際には、どれだけ集客を望めたのか結果として出てくるものになるので、その集計やアンケート回収などの知識を学ぶ。
7	実施運営①	具体的な用意(仕込み/準備等)を行う。担当箇所の運営にあたる人のスケジュールを作成。その担当者のチェック項目を明確にするもの等を揃えて実施運営としていく。また簡単なルール・マニュアル作りも大切な要素となる。
8	実施運営②	実施運営を行い、最後の撤収作業まで責任を持って行う。その後、廃棄・保存・記録等の作業が次年度に関係してくるので、申し送り等の作業をしっかりと行う。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業科目		授業時数
業界研究		68
学年	学科	専攻
2	楽器ビジネス学科	ギタークラフト
担当講師(プロフィール)		
<p>横山 友之            豊かな現場経験をもとに、クラフトマンとして必要な知識や技術を伝授。アーティストからの信頼を得るような考え方の育成にも力を注ぐ。</p>		

前期
到達目標
目指す業界の幅広い仕事内容を知ってもらう。習得した知識や実技内容との関連も考えながら、業界との接点を感じてもらおう。

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・ <b>その他</b>

授業計画	
授業項目	実施内容
1	就活対策講座 (8) 具体的に就職に必要な様式について学び、勤務地や企業選別も含め、企業研究の知識も学ぶ。自分の将来を決めるターニングポイントでもあるため、しっかりした意識を維持していく。
2	リペア工房 (48) 放課後にギタークラフト室が、楽器メンテナンス専用工房となる。学内(講師・卒業生も含む)のギターリストやベーシストの楽器を修理することで実践感覚を磨く。
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

授業の方法
講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>
授業概要
楽器業界について様々な角度から研究する授業です。業界就職についての対策講座や、楽器工場・メーカーの見学、他専攻・講師等から持ち込まれる楽器に対してよりリアルに技術を磨いていきます。 <実務経験のある教員等による授業科目>
使用教材:

後期
到達目標
学内外での実習内容を消化しながら、他の学科との仕事の位置関係を学んで行く。自分自身が携わる部分、また協力できる部分等を意識してもらい、創り上げていく流れを体感、理解するようにする。

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・ <b>その他</b>

授業計画	
授業項目	実施内容
1	リペア工房 (56) 放課後にギタークラフト室が、楽器メンテナンス専用工房となる。学内(講師・卒業生も含む)のギターリストやベーシストの楽器を修理することで実践感覚を磨く。
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

授業科目		授業時数
クラフト実習		300
学年	学科	専攻
2	楽器ビジネス学科	ギタークラフト専攻
担当講師(プロフィール)		
<p>横山 友之            豊かな現場経験をもとに、クラフトマンとして必要な知識や技術を伝授。            アーティストからの信頼を得るような考え方の育成にも力を注ぐ。</p>		

前期	
到達目標	
作業工程の理解度 / 的確な工具の使用判断 スムーズな作業進行 安全な作業環境の確保 作品完成度	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画		授業項目	実施内容
1	ベース(2作目)の組み込み	ベース組み込み工程について解説し制作を行っていきます。	
2	ベース(2作目)の組み込み	ネックジョイントを行い、ブリッジの位置決めを行います。	
3	ベース(2作目)の組み込み	ナットを作成して、最終調整を行っていきます。	
4	3作目治具製作	3作目を作成するにあたり、セットネックとスルーネックのジグ製作についての解説を行います。	
5	3作目治具製作	3作目のジグ製作工程を行います。その際の注意点も説明していきます。	
6	3作目治具製作	前日に引き続き3作目のジグ製作工程を行っていきます。	
7	3作目ネック製作	ネック材の平面出しを行い、その後ラフカットまで行っていきます。その際の注意点なども併せて解説していきます。	
8	3作目ネック製作	ネックグリップのラフ加工を行っていきます。その後、ロッド埋め込みまで行います。	
9	3作目ネック製作	指板を貼り付けていきます。	
10	3作目ネック製作	フレットの打ち込みを行い、その後にベグ穴加工等の工程を行っていきます。	
11	3作目ボディ製作	ボディを制作していきます。まず、ボディ材平面出しを行い、外周加工をしていきます。	
12	3作目ボディ製作	各種ザグリ加工を行っていきます。	
13	3作目ボディ製作	アーチドトップ加工を行っていきます。	
14	3作目ボディ製作	ネックジョイントの加工を行っていきます。	
15	3作目最終木地研磨、塗装	セットネック/スルーネックの木地研磨をしていく上での注意すべきポイントを説明しながら行っていきます。	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・ <b>実習</b>	
授業概要	
スタンダードモデルのコピーからフルオリジナルまで、ギター・ベースの製作を行います。具体的な工具の使用法、木工加工、塗装や組み込み等の製作工程などを基礎から順序を追って学びます。 <実務経験のある教員等による授業科目>	
使用教材:	

後期	
到達目標	
作業工程の理解度 / 的確な工具の使用判断 スムーズな作業進行 安全な作業環境の確保 作品完成度	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画		授業項目	実施内容
1	3作目塗装、4作目図面・治具製作	セットネック/スルーネックの中塗りを行っていきます。また、4作目のオリジナル作品の設計も行います。	
2	3作目塗装、4作目治具製作	セットネック/スルーネックのカラーリングを行います。前回に引き続き、4作目の図面製作も行います。	
3	3作目塗装、4作目ジグ製作	セットネック/スルーネックのトップコートを行います。また4作目ジグ製作を行っていきます。	
4	3作目塗装、水研ぎ、バフ当て工程、組み込み	セットネック/スルーネックの水研ぎを行っていきます。	
5	3作目塗装、水研ぎ、バフ当て工程、組み込み	セットネック/スルーネックのバフあてを行っていきます。	
6	3作目塗装、水研ぎ、バフ当て工程、組み込み	セットネック/スルーネックの組み込みを行っていきます。	
7	3作目塗装、水研ぎ、バフ当て工程、組み込み	セットネック/スルーネックの組み込みを行っていきます。	
8	4作目木工加工、塗装	4作目のボディの加工を行っていきます。	
9	4作目木工加工、塗装	4作目の木地の研磨を行っていきます。	
10	4作目木工加工、塗装	4作目の下地と中塗り塗装を行っていきます。	
11	4作目木工加工、塗装	4作目のトップコートを行います。	
12	4作目水研ぎとバフ当て	4作目の水研ぎ工程を行います。	
13	4作目水研ぎとバフ当て	4作目のバフあてを行っていきます。	
14	4作目組み込み調整	4作目の組み込み工程を行っていきます。	
15	4作目組み込み調整	4作目の最終調整を行っていきます。	

授業科目		授業時数
リペア実習		180
学年	学科	専攻
2	楽器ビジネス学科	ギタークラフト専攻
担当講師(プロフィール)		
園尾 幸一 ビンテージショップの経営者・リペアマンとして関西楽器業界で活躍。長い業界経験からなる、楽器にまつわる豊富な知識をレクチャーする。		

前期	
到達目標	
塗装技術 ナット製作 フレットの仕上げ 配線技術、調整技術	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画		授業項目	実施内容
1	オリジナル工具製作	これから実習を行うにあたり、実習で使用するためのナイフを製作していきます。	
2	オリジナル工具製作	これから実習を行うにあたり、実習で使用するためのパッドを製作していきます。	
3	ストラトキャスター ナット交換、フレット交換	ボルトオンネックタイプのギターの取り扱い方、また気を付けるポイントなどについて学んでいきます。	
4	ストラトキャスター ナット交換、フレット交換	ボルトオンネックタイプのギターのフレット交換の方法や注意点などの説明を受け実践していきます。	
5	ストラトキャスター ナット交換、フレット交換	ボルトオンネックタイプのギターのナット交換方法を学んでいきます	
6	セミアコースティックギターのリペア	セミアコースティックギターのリペアとして、まずセミアコの配線を理解し、実際に結線などをしていきます。	
7	ギブソンタイプのギターのリペア	ギブソンタイプのギターのリペアとしてセットネックのナット交換を説明し、実際に行っていきます。	
8	ギブソンタイプのギターのリペア	セットネックのフレット交換を説明していきます。併せて、交換する上での注意する点などを解説します。	
9	ギブソンタイプのギターのリペア	前回の説明を踏まえ、セットネックのフレット交換を実際に行っていきます。	
10	アコースティックギターのリペア	アコースティックギターのリペアとして、アコギのナット交換を説明し、実際に行っていきます。	
11	アコースティックギターのリペア	アコースティックギターのフレット交換を説明していきます。併せて、交換する上での注意する点などを解説します。	
12	アコースティックギターのリペア	前回の説明を踏まえ、アコースティックギターのフレット交換を実際に行っていきます。	
13	アコースティックギターのリペア	ピックガードの交換とサドルの交換を解説して、実際に行っていきます。また、ボディのクラックのリペアの方法や、気を付けるべきポイントを解説し、実際に行っていきます。	
14	前期試験		
15	ベースのフレットレス加工	ベースのフレットレス加工を行っていくにあたり、フレットレス加工の方法、効果などを説明していきます。	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
エレキからアコースティックまで、さまざまなギター・ベースの修理・調整を習得する授業です。作業を効率化するための工具製作や、基本的なリペアをより発展させた応用技術も扱います。 ＜実務経験のある教員等による授業科目＞	
使用教材:	

後期	
到達目標	
塗装技術 ナット製作 フレットの仕上げ 配線技術、調整技術	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画		授業項目	実施内容
1	ベースのフレットレス加工	ジャズベースのフレットレス化を前回の授業を振り返り、行っていきます。	
2	各種塗装について	オールラッカー塗装についてのレクチャーを行い、特徴、注意すべき点を解説していきます。	
3	各種塗装について	前回の内容を振り返り、実際にオールラッカー塗装を行っていきます	
4	ヴィンテージギターの復元	ヴィンテージギターの特徴を理解し、ヴィンテージギター特有のリペア方法や気を付けるべき点を	
5	ヴィンテージギターの復元	前回の内容を踏まえ実際にヴィンテージギターのリペアを行っていきます。	
6	ヴィンテージギターの復元	前回、前々回の内容を踏まえ実際にヴィンテージギターのリペアを行っていきます。	
7	テレキャスターコンポーネント製作	テレキャスターを使い、ヴィンテージを再現したザグリ加工を行っていきます。	
8	テレキャスターコンポーネント製作	テレキャスターを使い、ヴィンテージを再現したネック加工を行っていきます。	
9	テレキャスターコンポーネント製作	ヴィンテージを再現した塗装工程を行っていきます。その際のコツなども併せて解説していきます。	
10	テレキャスターコンポーネント製作	前回は引き続き、ヴィンテージを再現した塗装工程を行っていきます。	
11	テレキャスターコンポーネント製作	ヴィンテージを再現した塗装工程としてレリック加工を行っていきます。その際のポイントなどを解説します。	
12	テレキャスターコンポーネント製作	前回は引き続き、ヴィンテージを再現した塗装工程としてレリック加工を行っていきます。	
13	テレキャスターコンポーネント製作	ヴィンテージ加工レリック加工の終わった、テレキャスターを組み込み、調整していきます。	
14	後期試験		
15	テレキャスターコンポーネント製作	組み込み後に行うレリック加工について解説をし、実際に行っていきます。	

授業科目		授業時数
技術演習		120

学年	学科	専攻
2	楽器ビジネス学科	ギタークラフト専攻

担当講師(プロフィール)	
<p>金谷 昇治 エフェクターやアンプ、音響機器の修理・製造などに長年にわたって関わった経験をもとに、楽器にまつわる電気の知識を指導する。</p>	

前期	
到達目標	
<p>オームの法則の理解 / オペアンプの理解 CRフィルター回路の理解 デシベルの理解 / ギターサーキットの理解</p>	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画	
授業項目	実施内容
1	STサーキット内部における各メーカーのパーツ音色の比較 各メーカーのボリュームポットを鳴き比べて、音色の違いなどをしり、理解していきます。
2	STサーキット内部における各メーカーのパーツ音色の比較 各メーカーの配線ケーブルを鳴き比べ、種類や材質による違いを確認していきます。
3	STサーキット内部における各メーカーのパーツ音色の比較 各メーカーのコンデンサーを鳴き比べを行い、種類による違いを確認していきます。
4	測定器の使い方 交流電圧計(ミリバル)の使い方を解説し、その際の注意、使用用途などを学んでいきます。
5	測定器の使い方 発振器の使い方を解説し、その際の注意点、使用用途などを学んでいきます。
6	測定器の使い方 オシロスコープの使い方を解説し、その際の注意点、使用用途などを学んでいきます。
7	デシベルについて デシベルとは何なのか、またその概念について解説していきます。
8	デシベルについて デシベルの計算方法を学習していき、いくつかの例題を解いていきます。
9	ハイカット、ローカット ミキサーなどにも、よくついている、ハイカット、ローカットの回路を読み解き、仕組みを理解します。
10	バンドパスフィルターについて バンドパスフィルターについての説明を行います。またその効果や仕組みについても解説していきます。
11	フィルターの測定 実際にフィルターが機能しているのかを、効果を確認しながら測定していきます。
12	フィルターの測定 実際にフィルターが機能しているのかを、効果を確認しながら測定していきます。
13	電源の種類ととりかた 様々な電源についての説明や特徴、取り扱いについて、解説をして、学習していきます。
14	前期試験
15	エフェクターの動作解析 様々なエフェクターの構造の説明を行い、そのエフェクターの解析していきます。

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	

授業概要	
<p>エレキギター・ベースと周辺機器、音響機器などの電気回路について学びます。また、エフェクター製作やアンプ等の修理を通して基本的な電気回路の設計や半田付けの技術などを習得します。 ＜実務経験のある教員等による授業科目＞</p>	

使用教材:	
-------	--

後期	
到達目標	
<p>実際の電気修理の技術 / サーキットの理解 ケーブル処理の技術 スピーカーシステムの理解 / フィルター回路の理解</p>	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画	
授業項目	実施内容
1	アンプ等の修理について アンプのチェック方法についての概要や、注意すべき点などを解説していきます。
2	アンプ等の修理について チューブアンプとトランジスタアンプの違いについて解説し修理についての違いを解説します。
3	アンプ等の修理について 真空管についての解説を行います。また、その取扱いに関する注意点なども学んでいきます。
4	アンプ等の修理について スピーカーの修理について解説をしていきます。また修理に関する注意点も併せて学習していきます。
5	アンプ等の修理について 過去に学習したことを踏まえ、実際にアンプの修理を行います。
6	音響システムの組み方 ミキサーとプリメインアンプの役割と用途について学んでいきます。
7	音響システムの組み方 パワーアンプの役割や用途、使用方法、接続方法などを学んでいきます。
8	音響システムの組み方 スピーカーキャビネットについて、その役割、また種類なども解説していきます。
9	音響システムの組み方 オーディオプレイヤーについて、その役割や用途、種類などを学んでいきます。
10	音響システムの組み方 MP3、ハイレゾ音源についての概要や特徴を解説します。またその他のフォーマットについても学んでいきます。
11	制作物 自身でオーディオスピーカーの製作していきます。前段階として、今回の作成物の概要についての説明を受けます。
12	制作物 使用するスピーユニットを測定し、公式をもとにスピーカーキャビネットとネットワークの設計を行います。
13	制作物 前回行った設計をもとに、スピーカーキャビネットの木工工程を行います。
14	後期試験
15	制作物 自作のスピーカーキャビネットにユニットを設置、サウンドチェックしながらスピーカーチューニングを行います。

授業科目		授業時数
音響基礎		120

学年	学科	専攻
2	楽器ビジネス学科	ギタークラフト専攻

**担当講師(プロフィール)**

伊東 克彦  
長年にわたりレコーディングやライブの音響エンジニアとして活躍。音響現場において必要とされる知識や技術の指導を行う。

**前期**

**到達目標**

PA周辺機材理解

**評価方法**

筆記試験・**実技試験**・実習評価・課題評価・**小テスト**・その他

**授業計画**

授業項目	実施内容
1 年間の授業ガイダンス	一年間の「音響基礎」授業内で扱う内容について解説します。
2 一年次の復習①	一年次に学んだ、「マイクケーブルの取束」「マイクロフォンの取り扱い」について再度確認し、実習形式で復習を行います。
3 一年次の復習②	一年次に学んだ、「マイクスタンドの取扱い」「スピーカースタンドの取扱い」について再度確認し、実習形式で復習を行います。
4 一年次の復習③	一年次に学んだ、「伝送回路の知識」について再度確認し、講義形式で復習を行います。
5 一年次の復習④	一年次に学んだ、「ミキシングコンソール」について再度確認し、講義形式で復習を行います。
6 一年次の復習⑤	一年次に学んだ、「パワーアンプとスピーカー」について再度確認し、講義形式で復習を行います。
7 小規模PAシステムの構築①	小規模PAシステムについて解説、実際に現場を想定したシステムプランニングを行います。
8 小規模PAシステムの構築②	小規模PAシステムについて解説、実際に現場を想定したシステムの設営を行います。
9 エフェクターの接続①	PAで使用されるエフェクターのうち、リバーブやディレイといった空間系エフェクターについて解説します。
10 中規模PAシステムの構築	中規模PAシステムについて解説、実際に現場を想定したシステムプランニングと設営を行います。
11 実践的なPAシステムプラン	前回の実習を踏まえ、さらに現場を想定した実践的なPAシステムプランについて学びます。
12 DI	DI(ダイレクトボックス)について、その働きと代表的な機種・特徴を解説します。
13 前期実技試験対策	PAシステムの設営を想定した前期実技試験について、試験内容を解説しガイダンスを行います。
14 前期実技試験①	PAシステムの設営を想定した前期実技試験を行い、理解度を確認します。
15 前期のまとめ	前期授業内で学んだ内容をおさらいし、さらに理解を深めます。

**授業の方法**

講義・演習・実験・実技・**実習**

**授業概要**

音響に関する知識を学び、ステージで使用されるアンプや音響機器(ミキサー、マイク等)の取扱い等を習得、実際の現場を想定したアーティストとのコミュニケーション能力を高めます。  
＜実務経験のある教員等による授業科目＞

**使用教材:**

**後期**

**到達目標**

PA仕込み知識

**評価方法**

筆記試験・**実技試験**・実習評価・課題評価・**小テスト**・その他

**授業計画**

授業項目	実施内容
1 ドラムのセッティング①	様々な音楽ジャンルにおけるドラムの構成について解説。またドラムのセッティング～バラシを実習形式で学びます。
2 ドラムのセッティング②	ドラムの口径とチューニング、それぞれのマイキングについて学びます。
3 ベースのセッティング	ベースアンプの取り扱いとマイキング、DIを使用した出力方法についてレクチャーします。
4 ギターのセッティング	代表的な各モデルのギターアンプの取り扱いとマイキングについてレクチャーします。
5 キーボード/エレクトリックピアノのセッティング	キーボード/エレクトリックピアノの代表的な機種とDIを使った出力方法についてレクチャーします。
6 グランドアース	音響におけるグラウンドの考え方について解説します。また、グラウンドループとグラウンドリフトについても学びます。
7 エフェクターの接続②	PAで使用されるエフェクターのうち、コンプレッサー、リミッター、ノイズゲートといったダイナミクス系エフェクターについて解説します。
8 ステージワーク①	音響現場におけるステージワークの内容と実際の業務について解説、必要な知識や技術について学びます。
9 ステージワーク②	前回学んだステージワークについて、実際の現場を想定し実習形式で学びます。
10 ステージワーク③	前回学ばに引き続き、ステージワークについて実際の現場を想定し実習形式で学びます。
11 ミキシングオペレーション①	ミキシングオペレーションについて、大まかな内容を解説。次週以降の実習の準備を行います。
12 ミキシングオペレーション②	ミキシングオペレーションについて、実際の現場を想定し実習形式で学びます。
13 テクニシャンワーク①	テクニシャンワークについて、必要な知識・技術を解説し、次週以降の実習の準備を行います。
14 後期実技試験	テクニシャンワークについて、実際の現場を想定し実技試験を行います。
15 テクニシャンワーク②	テクニシャンワークについて、実際の現場を想定し実技形式で学びます。また、一年間の授業内容をおさらいし、再確認します。